

Yusuhara a Home from Home (第 25 部)

イングリッシュデイキャンプ参加記 (English Camp in Yusuhara 2023)

梶原学園 ALT : スティーヴン・ウダード

今年の 8 月は、高原まつりが数年ぶりに復活したりと、ある種の節目となりそうです。個人的には特に、雲の上の図書館内で、月末に開催されたイングリッシュデイキャンプに初めて参加できたのは、すばらしい体験でした。

8 年生の 2 学期は、他の学年の生徒たちとは違う形で始まりました。普段どおりに新学期を迎えたり、始まってすぐに行われる校内テストの準備をしたりする代わりに、2 日間のイングリッシュデイキャンプに参加することになっていたのです。この企画は町外の会社に委託して開催されたもので、僕としても、お手伝いするのを楽しみにしていました。

それにしても、本当ににぎやかな 2 日間となりました。参加した 8 年生たちは、並々ならぬ意欲を示してくれました。ネイティブの講師陣に加え、学園の先生方や教育委員会のスタッフも参加し、テレビ社の取材さえあったほどです。授業もみっちりでしたが、最後の活動は、生徒が自分たち自身で考えたオリジナルのストーリーで寸劇を演じる、というものでした。8 つのグループは、いずれも 2 日間の研修の成果と、普段の授業で学習したことを活用しながら、見事なパフォーマンスを見せてくれました。とにかく最初から最後まで英語づくめで、授業の内容も濃いものだったのは間違いありません。それでも、参加した全員がせいっぱいに頑張っただけでなく、これまでに経験したことのないくらいの英語の量についていくことができていたのを見て、とても頼もしく感じました。この流れを、これから始まる学校の授業にも持ちこんでいけたらいいですね！

最後になりましたが、企画された会社と、その 2 人の講師、ウィリアムさんとジェリーさんにもお礼を言いたいと思います。お二方とも魅力的な先生で、授業の新しいアイデアをいろいろと示してくださいました。僕もそのうちに活用してみようかな、と思っています。

(日本語訳 : 町 ALT 森竹弘喜)



キャンプ終了後の全体写真です。修了証明書を持った 8 年生たちと、講師のウィリアムさんとジェリーさん。